

## 編集後記

新年度の就職・転職や進学で生活が一変された方も、ゴールデンウィークでやっと一息ついているところでしょうか？ PCC の発表がやっと終わったと思ったら、今度は部門大会の原稿締め切りに追われ、ほとんど休めなかったという悲鳴も聞こえてきそうな気がします。8月に、食いだおれの街でD部門の皆様にお会いできますことを楽しみにしています。

さて、今月のニュースレターでは、資料コーナを東芝の森川様にご執筆いただきました。CO<sub>2</sub> 排出量の観点から、「新エネルギーも原子力も」と考えるのが現実的であることがわかります。

また6月号の論文誌特集号の予告を、徳島大の寺田先生にご寄稿いただきました。発表件数88件という活発な研究会からの特集とのことですので、ぜひご期待下さい。

研究調査運営委員会からは、今年度の研究会計画の情報提供をいただきました。国際会議情報と合わせて、今年度

の論文投稿計画を立てていただければ幸いです。

私事になりますが、電気学会会員になってから10年を超え、サービスを受ける側から、編集委員や運営委員、技術委員、協同研究委員会委員長としてお手伝いをする機会をいただくようになってまいりました。いかに多くの方のボランティアに支えられてD部門が成り立っているのか、今さらながら実感し、諸先輩方に感謝しております。それと同時に、慣習化してしまい誰のためになっているのかわからないような仕事は、できるだけ簡素化し、会員の皆様へのサービス向上に集中できるよう効率化をする必要性も感じます。D部門は会員の皆様が主役だと思います。ぜひとも積極的に参加いたしましょう。

最後に、2月のご多忙の中、各記事をご執筆いただきました皆様、編集作業にご協力いただきました皆様に、厚くお礼申し上げます。

エディタ 藤本 博志(横浜国立大学)

### 【産業応用フォーラム「超高速ドライブ・ベアリングレス関連の最新技術」のご案内】

日 時：平成19年6月1日(金)13:00~17:20 会 場：電気学会会議室  
詳細については右のサイトを参照願います。 <http://www2.iee.or.jp/~ias/kousyukai.html>

### 【6月号特集「モーションコントロール、計測・センサ応用全般特集号」予告】

センサの知能化によるシステムの高度化協同研究委員会委員長 寺田 賢治(徳島大学)

モーションコントロール及び計測・センサ応用に関する要素技術は、メカトロニクスや計測制御システムに対して極めて重要であり、それらの技術動向を明確にすることは学界・産業界にとって意義が深いものがあります。そこで、センサの知能化によるシステムの高度化協同研究委員会と環境適応型モーションコントロール協同研究委員会では、平成15年より毎年3月に産業計測技術研究会を共催し、モーションコントロールおよび計測・センサ応用の最新かつ実用性の高い技術について、発表とそれに関する議論を行ってきました。本研究会は年を重ねるごとに規模が大きくなり、平成18年3月の産業計測技術研究会(平成18年3月8~9日、静岡大学工学部にて開催)では発表件数88件、聴講者数130名という盛大なものになり、質の高い発表と活発な討論が行われました。このような背景のもと、モーションコントロール、計測・センサ応用全般に関する論文をできる限り集約して読者の目に触れやすくすると同時に、研究会で発表された研究成果とそこで交わされた有意義な議論をむだにしないために、平成19年6月号では「モーションコントロール、計測・センサ応用全般特集号」を企画いたしました。本特集号では、平成18年3月の産業計測技術研究会で口頭発表された論文をベースに研究会における質疑やコメント等の討議結果を踏まえて投稿され、査読を経た論文14件を特集論文としてまとめて掲載いたします。

なお、本特集号の企画に関しては今後継続することとしており、平成20年(2008年)6月号でも同様の企画にもとづいて投稿論文を募集中です。本特集では、平成19年3月の産業計測技術研究会(平成19年3月6~7日、長岡技術科学大学にて開催予定)で口頭発表・質疑応答予定の講演論文を対象にモーションコントロールおよび計測・センサ応用に関する最新かつ実用性の高い研究論文を募集いたします。投稿締切は平成19年(2007年)6月25日(月)で、電気学会ホームページ <http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.html> より電子投稿をお願いしていますが、電子投稿が困難な場合は電気学会会誌編修課D部門誌特集論文受付係に郵送していただいても結構です。なお、投稿に際しては投稿票への必要事項の記入に加えて、「D部門誌平成20年6月号モーションコントロール、計測・センサ応用全般特集号、研究会論文番号(IIC-07- )」を必ず記して下さい。研究会での発表論文番号がないと特集号論文として扱うことができませんのでご注意下さい。平成19年3月の産業計測技術研究会において発表された内容を論文化することをご検討いただき、奮ってご投稿下さいますようご案内致します。